

1 検診前の問診の実施

- 検診においては問診票を配布し、下記に該当する場合は受診を遠慮頂く
 - 1. 新型コロナウイルスに感染している方
 - 2. 新型コロナウイルスに感染した後、厚生労働省の示す感染者の療養期間が終了していない方
 - 3. 現在、風邪症状(発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛)や関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害がある方
- ※ 上記問診内容は、状況により変わることがあります

2 3つの密を避ける「密閉・密集・密接」対策

① 密閉対策

- 検診会場の換気を充分に行う
- 検診車内(移動中も含む)は換気を行い、一度に乗車する人数を適正な数にする

	対策前		対策後
胃がん検診車	撮影者1人・待合室3人	→	撮影者1人・待合室1人
胸部検診車	撮影者1人・待合室2人	→	撮影者1人・待合室1人
マンモ検診車(1基搭載)	撮影者1人・待合室2人	→	撮影者1人・待合室1人
マンモ検診車(2基搭載)			撮影者2人・待合室2人
子宮検診車	診察台2人・待合室3人	→	診察台2人・待合室1人

② 密集対策

- 検診時の待合については、適切な距離を確保して並んでいただく
- 受診者間の会話は、極力控えていただく

③ 密接対策

- 検診スタッフは不織布マスクの着用をする
- 検診スタッフは、アルコール消毒液等による入念な手指の消毒を励行する

3 検診器具の消毒

- 視力計、聴力計、身長計、体重計など検診器具の消毒を受診者ごとに行う
- 検診車の消毒を受診者ごとに行う
 - 胃がん検診車 検診台の手すりと顔が触れる部分
 - 胸部検診車 撮影装置の手すりとおごが触れる部分
 - マンモ検診車 撮影装置で体が触れる部分
 - 子宮頸がん検診車 診察台を除菌剤でふくこと、診察台のロールシーツの取り替え

4 スタッフの健康管理

- 発熱(37.5℃以上)、風邪等の体調不良の症状がある場合には、センターに出勤しない
- 施設内の定期的な換気

5 検診スタッフの対応

- 検診スタッフは、不織布マスクを着用する
- 検診スタッフは、アルコール消毒液等による入念な手指の消毒を励行する
- 検診スタッフ間の会話は、極力控える